

HATS TIMES

HONDA AUTOMOTIVE TECHNICAL SCHOOL

学校法人ホンダ学園 ホンダ関西自動車整備専門学校

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 六角屋 雷太

ホームページ
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

iモード、J-SKY、EZweb
<http://ajtw.jp>

1年生 販社訪問で

プロの仕事を学ぶ

ホンダ学園関西校は、本年度より販社様の御協力を得、入学後の早い時期に1年生の販社訪問を実施することにしました。
多くの学生が将来整備士を目指しますが、販社の仕事及び整備士の仕事を知った上で積極的に学校での勉強に取り組んでもらうのが、この販社訪問の主旨です。
今年5月10日〜24日の間、学校近隣のプリモ・クリオ・ベルノの7社11販売拠点に御協力頂き、学生と先生で訪問しました。販社様では、企業の経営方針から業務の進め方等をご説明頂き、その後販売・サービスの現場を見学させて頂きました。
学生たちは、企業とはどういふものなのか、お客様を第一とする考え方やお客様の期待を上回るサービスの提供が求められている事、そしてスタッフの方のキビキビとした動きを見て、働くことの厳しさを知らされました。
販社訪問後、学生達は各々の課題を見つけ、新たな気持ちで取り組もうとする前向きな姿が授業の中で見受けられる様になりました。



現場のサービスについて説明を聞いています。



自動車整備科
1年4組
平松 秀司
趣味: サッカー、釣り

Q 実際に販社を訪れた感想は？
正直、訪問先が自分の希望販社様だったので、2年後自分がどういった感じで仕事をしているのかが少し見えて良かったんです。

Q プロの仕事を見た感想は？
率直に「かっこいい」と思いました。自分も学園生活で出来るだけ多くのことを吸収して早く一人前の整備士になりたいです。

Q 一番驚いたことは？
作業している姿をテレビモニターで見れる設備など、お客様を第一に考えるお店作りが自分の考えていた以上だったことに驚きました。

Q 将来どんな整備士になりたいですか？
今回の販社訪問でハードだけでなくソフトの部分もより高めていこうと再確認しましたので、お客様に信頼され、番支持していただける整備士になりたいです。



ホンダプリモ泉州 貝塚店
石橋 正弘 店長

企業訪問にいられたホンダ学園の学生さん達を迎えた時、私の知る同年代の人のイメージを覆すくらい礼儀正しく、希望に満ち溢れた目をされておられ、とても爽やかな印象を受けました。
現在は、就職という目標に向かって、日々努力されている事かと思えます。自動車ディーラーでは営業は花形というイメージを持たれると思いますが、現実は大変厳しく、新車販売の収益に頼る経営は年々難しくなっており、それ以外の収益の確保に取り組まなければなりません。中でも「サービス収益」は大変重要であり、要であります。これからの自動車ディーラーはサービスフロント、メカニックの活躍なしではとても成り立ちません。それに伴い報酬も当然UPするでしょう。もはや「サービスが花形」と言っても過言ではありません。お客様に信頼されるサービスを提供することができれば、お客様の満足度を高めると同時に、必ず収益の増加にも繋げることが出来ます。学ぶことがたくさん有り大変だとは思いますが、その事が役に立つ時が必ず訪れます。皆さんの先輩達が日々職場で証明してくれています。今はそれを信じ、希望と目標を持って頑張ってください。



プロの仕事を目の前で



新型車エリシオンに試乗



2年生 鈴鹿安全運転講習

今年も2年生の安全運転講習が5月11日〜5月28日の3週間、4コースに分け行われました。
2年生の講習は1年時の運転技術の向上を目的とした講習と違い、セーフティコーデイネーターの資格取得に対応した、より実践的な内容を二輪四輪コースに分かれて学びました。講習内容は就職した時のお客様に「安全運転の手渡し」を大きな目標と設定し、日常の運転で起こりうる色々な場面を想定し、対お客様としてロールプレイングを行い、教育センターのインストラクターより指導を頂きました。また、教育センターのインストラクターからは1年時より運転能力が上がついているとの評価を頂きました。2年生はこの講習で各自課題等ができ、これからの安全運転普及活動に意欲を燃やしていました。(企画課 伊藤裕敏)

インターシッピング 一級へ向けて

現在の自動車はほとんどが電子制御であり更にシステムの高度化が進んでいくと考えられます。一級整備士課程では電子制御対応技術、環境問題への取り組みなどを学び、社会に貢献できる一級整備士を目指しています。
また、一級整備士を取得するためには200時間のインターシッピングが義務付けられており、7月6日から始まる実際の販売会社での実習を通し、学生気分を捨て整備士としての自覚を身に向上させる事を目標に取り組んでいきます。
来年3月には一級整備士認定試験を控えた日々が続きますが、来年5月に行われる口述試験ではインターシッピングで学んだ事を自分の強みとして頑張ります。



経営研究科
2年1組
深田 健輔
信頼される一級整備士になる

講習を終えて一番に残っていることは、授業だけでは分からないFFとFRの駆動方式の違いをよく体感したことですね。車を買う時は、安定性の高いFF、けど2000買います。パワステ、エアバック、ABSなど、どんなハイテクな装置も(特にABS)運転時の姿勢が悪いと100%の能力を発揮できないという事を知り、運転する側の重要性を再認識しました。より一層安全に対する意識が強くなり、模範的なセーフティドライバになれるよう努めるつもりです。



自動車整備科
2年2組
岸上 裕史
本田宗一郎さんを尊敬しています

やはり鈴鹿サーキットフルコース体験走行が一番に残っていますね。街乗りでの飛び出しや対向車への気配りが無くなり、コーナーへのラインなどへの集中ができ、普段とは違った二輪のお客への対応は、普段使っている専門用語が使えない分苦労しました。バイクに乗って楽しかっただけでなく、対応販売やバイクを購入するお客様の気持ちも経験出来たので、すごく充実しました。



自動車整備科
2年2組
桂山 拓也
鈴鹿8耐応援よろしくお願ひします

6月3日、昨年モデルチェンジした新型オデッセイの開発に携わった栃木研究所の日野さんと清野さんにお越し頂き「開発の想い」「新技術」「特徴」「他社との違い」と大変興味深い内容で学生のみなならず教職員も興味津々で開発技術者の熱い想いが伝わってきました。
学生も当初の予定より多い人数が押しかけレポート用紙が不足するほどでした。



新型オデッセイの前で記念撮影

新校舎建設中 2005年3月完成予定

教育の質と魅力の向上によりモビリティ領域で幅広く活躍できる人材を育成するために、2005年3月校舎を建て替え、教育環境を大幅に向上させます。
1階から3階までの全フロアーでITを活用した教育や完成車両を使用した多様な教育が行えるようになり、同じフロアーで、理論等を学ぶ学科授業から、単体システムさらに完成車両を使った実習授業まで、理論から実践の一貫した内容を学ぶことが出来ます。
〈概要〉
①魅力ある解りやすい授業の実現
②ヘイスの技術から新技術修得まで幅広く学ぶ
③学生の自主活動の活性化
④地域社会への貢献
⑤環境に優しいキャンパス



実際に車両に触れながら講習を受けます。

1年生 安全運転講習

6日の1年生の車両持込みを前に、鈴鹿安全運転教育センターの方にお越し頂き講習をして頂きました。バイク3台を前にして基礎的な乗車マナー・乗車姿勢や乗車前点検の重要性の再確認を行いました。ビデオカメラとスクリーンを使い、後ろの学生にもきちんと見える様に、細かい内容も十分に理解することが出来たと思います。



テクニックだけでなく意識の向上も目指します。

2年生 安全運転講習

5月に行われた鈴鹿安全運転講習で基礎的な訓練や危険回避のテクニックは向上しておりますが、テクニックだけでは安全運転に繋がらないということで大阪府交通安全協会から小松龍夫様にお越し頂き、安全意識の向上を目指しテクニックと安全意識のバランスの取れた乗車マナーを身に付けるという事で講話していただきました。

国家一級小型自動車整備士の資格を取得された先生



教務部教務課
橋 裕

私は昨年、国家一級小型自動車整備士検定試験に合格することが出来ました。試験の中で特に口述試験が私にとって大変なものでした。これから受験される経営研究科の皆さんは、教科書を使って勉強するのはもちろん口述対策も忘れず、頭の中で考えているだけではなく、自分の言葉で表現できるようになるまで何度も実際に声を出し、訓練してください。そうすればきっと、Good Luck!!



教務部企画課
渡邊 英俊

今年念願の国家一級小型自動車整備士の資格を取得することが出来ました。資格取得の勉強は改めて電装知識の大切さを痛感したことが新技術が多くあり、時代に遅れないためにはもっと広く知識を得ることが必要と感じました。今後はこの知識を学生の皆さんに波及出来るように頑張りたいと思います。



教務部教務課
久永 専

この度、国家一級小型自動車整備士に合格することが出来ました。この資格を得るために様々な新技術や知識を得ましたので、学生の皆さんが就職先で活躍できるように、学んだことを授業に生かして生きたいと思っております。



鈴鹿300km耐久のピット作業風景



記者発表で決意表明するサインリーダーの自動車整備科2-4 菊川裕二君

今年も本校の学生が「ライダーホンダ学園DDBOYS」のメカニックとして参戦します。

マシンはCBR1000RRを使用し、ライダーは現在「DDBOYS」からJSB1000に参戦している浜口俊之選手と、同じくJSB1000でチーム高武RSCで活躍中の森脇尚護選手の2名が鈴鹿8時間耐久ロードレースに参戦いたします。

学生達は記者発表の中で次のように決意を表明しました。

「僕たちが8耐というような夢のような大きな舞台に出場できるのもメインスポンサーのライダー様を始め、数々のスポンサーやたくさんの方々のサポートや期待があるからこそ成り立っているのだと、出場するからにはレースで大きく成長したいと思えます。」

7/22~25

真夏の祭典「鈴鹿8耐」に チームメカニックとして

参戦!!!



7/9に行われた壮行会風景。学生全員で8耐メンバーを激励!

「鈴鹿8耐」前哨戦

“Road to 8hours”

鈴鹿300km耐久 ロードレース 見事6位完走!

ライダーホンダ学園DDBOYSの浜口選手は予選3番手(CBR1000RR)のサテライトチームの中ではトップタイム。予選で2度の転倒を喫した浜口選手だが、2分10秒533で予選3番手を確保。マシンの修復作業がDDBOYSとホンダ学園関西校の学生によって徹夜で行われ、学生にはある意味、勉強にもなった。浜口選手にケガはなく、決勝では300kmをひとりで走りきることに。タイヤ交換や給油などのピットワークが注目された。注目のピットワークは、周りのピットの状況が見えずストップボードを早く出しすぎた場面もあったが、作業自体は早さは二の次とし、各自作業をミスが無い様に丁寧に確認にこなして無事ライダーを送り出した。結果は52週6位完走という素晴らしい結果となった。

本番の8耐では今回の課題をすべて解消し上位完走を狙う。

「鈴鹿8耐」テレビ放映のご案内

テレビ東京テレビ大阪系列6局ネット
【鈴鹿8時間耐久ロードレース2004】放映決定!!
放送日時/2004年8月6日(日) 午後4時~5時15分(予定)
スカパー!ウェイクTV!
ライブシリアル録画(2004)放映決定!
放送日時/2004年7月6日(日) 完全生中継
本校HPにて
【ライダーホンダ学園DDBOYS】の予選から決勝までのコンプライムやピットの様子を随時レポート。
インターネット中継日時/2004年7月6日(日)19:00~20:00

皆さん応援よろしくお願いします!!

第18回 ホンダエコノパワー 燃費競技鈴鹿大会で優勝

6月12日(土)に鈴鹿サーキットで行われた第18回ホンダエコノパワー燃費競技鈴鹿大会に出場しました。エコランとはリットルのガソリンで何キロ走行できるか、という競技です。大会の結果は車両ライトロードが452.46kmでグループで見事優勝!!

2台の内1台である車両NEXの方は残念ながらリタイヤとなりました。今大会でいろいろ課題が出来ましたので次の全国大会(10月2・3日)までに解決して、2台とも納得のいく結果がでるよう頑張りたいと思います。



優勝した同好会メンバー

フットサル同好会発足

僕たち、フットサル同好会は今年結成し活動を始めた。フットサルというスポーツは6名ほどで行うミニサッカーです。経験者は同好会内にはいませんが、種々のスポーツを経験したメンバーで日頃、充実した活動をするために話し合い、工夫しながら楽しく練習に励んでいます。この同好会活動を通じ、One for All, All for Oneの精神を身につけ、青春の1ページを刻んで行きたいと思えます。



同好会発足メンバー

レストア同好会発足

レストア同好会は、動かなくなった旧車を自分達の手でこの時代に蘇らせたという仲間が集まり同好会を立ち上げました。まず最初に、二輪車CB50(1976年製)と四輪車N360(1970年製)のレストアを行い完成車が学園に永く残る様チャレンジします!!



CB50とN360を囲んで

New Zealand

本年度より学生のニュージーランドワーキングホリデーに参加しニュージーランドのホンダ系販売店で働きながら海外文化を吸収しています。

ニュージーランドからの便り
最初の2週間は、英会話学校に通いました。その間、関東校の方と同じ家でホームステイし、もっと英語で話したいと思う子が多かったです。成果のある2週間だったと思います。

英会話学校での勉強を終え、4月26日からオークランドのニューマーケットというところで仕事を開始しました。スタートだと気を引き締めてピットに向かいました。その日はドライバーの方の仕事を見学しただけで、実際に仕事をしたのは翌日からでした。内容は日本の1年点検のようなものです。働き始めて2週間後、30分点検のチームに加わりました。それまでは部品の交換のみでしたが、ここからは点検のみではなく、はじめは退屈だと感じていたのですが、台数をこなす分、良い状態と悪い状態の見分けがすくすくできるようになりました。



自動車整備科 本多 広平 ニュージーランドの仕事場にて

この仕事での成果を感じました。働いていて感じる日本との違いは、ゆっくりのんびり、大雑把に仕事をこなすところ、日本では仕事をこなすのが「バキ」といった感じですが、ニュージーランドでは「走ると「歩け」と注意されます。それは、仕事に対する考え方の違いで、効率よりも、体のことを優先しているからだと感じました。

もう一つの違いは、先輩と後輩のような関係がありません。同僚の立場で接すること。これは文化の違いを感じたことの一つでもあります。生活していて、1番文化の違いを感じたのは、男の人が家事をすることです。最近では日本でも増えてきていると思いますが、ニュージーランドでは昔から当たり前だそうなんです。ニュージーランドに来てまだ2ヶ月半ですが、仕事の中では、働いて得ることのできるテクニックや責任感身につけることのできるコミュニケーションの上達を、少しずつながら感じるようになってきました。ですがそれはまだ僅かなもので、まだまだ努力が必要だと感じています。自分を成長させる大きなチャンスを見逃さないよう、1日1日を大切に、多くのことを学びたいと思います。(自動車整備科 本多 広平)



自動車整備科 田中 健一郎 ホームステイ先のファミリーと

People Close Up!

安全運転大会に向けて頑張っているオートバイ同好会の会長を務める 血井君と同じくオートバイ部の勝君の仲良し2人組を特集しました。

Q まず最初に安全運転大会について教えてください。
血井/簡単に言うと免許を取る時の卒業試験のすごく難しいやつです。大型、中型、原付と女性クラスに分けて行われます。勝/その中にスクロームや一本橋など様々な種目があってミスすると減点されると感じます。それがまた厳しいんですよ。

Q 出場しようと思ったきっかけは?
血井/中学の時から出たいと思っていて高校の時に2回、ホンダ学園に入ってから2回出場しています。ずっと2位でずっと...笑。
勝/ずっと2位に入っているんですけど、もういいや(笑)。僕はオートバイ同好会に入っている自分の技術を試そうと思って出場しました。オートバイ同好会はバイクに乗ることが中心で、目的は安全運転技術の向上です。

Q 現在バイクは何に乗っているの?
血井/兄貴のFR223です。就職したらVFR800(白)買いたいです。
勝/親父のJADEです。VTR1000Fファイヤーストーム(黄)が欲しいです。

Q 参加してどうでしたか?
血井/当日は白バイ仕様にしたバイクに乗っている人とかいて面白かったです。でも2位というのが悔しいですね。
勝/当日雨だったので十分に力を



自動車整備科2-4 血井 倫敬 オートバイ同好会 会長 安全運転大会 原付クラス2位
自動車整備科2-6 勝 健太郎 オートバイ同好会 平会員 安全運転大会 中型クラス2位

「街をきれいに!」
5月15日に実行の市内清掃に1年生全員360名と教職員34名が参加しました。2年生のHATSハイム生60名も6月6日に市内清掃を行いました。清掃地域は学校と寮の周辺約3km。いつも清掃後は「ゴミ袋20~30袋のゴミが集まります。今回はストローなんかも捨ててました。次回からは8月28日(土)に行います。



市内清掃風景

負傷者を想定した訓練

防 災 訓 練

突発的に地震や火災が発生したことを想定行いました。結果は避難時間予定8分に対し、真剣な取り組みとリーダーシップが不足気味だったため、12分と大幅なタイムオーバーとなりました。このままでは問題が残ったままでは終わることになるため、7月3日に再度訓練を行います。学生の意識向上もあって結果は5分25秒と、昨年よりも30秒早い結果となりました。

これからのスケジュール

7月	8月	9月	10月	11月
●企業実習(7/15~27)	●夏休み(7/28~8/15) ●保護者鈴鹿製作所見学会(8/19)	●期末試験(9/7~15) ●体育祭(9/28)	●企業説明会(11/4) ●海外研修旅行(11/15~22) ●1年鈴鹿安全運転講習(11/22~12/10)	
二輪整備同好会 ⇒鈴鹿8耐(7/22~25)	サイクルスポーツ同好会 ⇒シマノ鈴鹿国際ロードレース(8/28-29)	ソフトボール同好会 ⇒狭山市秋季大会	エコーン同好会 ⇒第24回本田宗一郎杯(10/2-3)	
●体験実習(7/28~31)	●学校見学会(8/20-23)	●学校見学会(9/4・18)	●入学試験開始(10/9~)	

7月25日に決勝レースが行われるFIM2004世界耐久選手権シリーズ第5戦「ココロ」鈴鹿8時間耐久ロードレースに二輪整備同好会のメンバーがチーム「ライダーホンダ学園DDBOYS」として参戦することが決定!

この様子を本校のHPでも、22日の予選から6日の決勝まで写真やラップデータなど、現地からのチームレポートを行う予定です。現地に行くことの出来ない方は是非ご覧下さい!

また今回「ライダーホンダ学園DDBOYS」の応援ステッカーも製作し添付致しました。セツケンNO.4とチームカラーである赤青白を基調としたデザインを青いステッカーにしてみました!!ご声援よろしくお願います!!

HATS TIMES 編集委員

相談室だより

こんにちは。相談室の石野です。これを読んで下さっている方の中で、他人が楽しそうなのを見ると、「なんであんなアホみたいに笑ってるねん!めっちゃ腹立つっつ(-.-X)怒怒怒!」と感じてしまう方はおられますか。そんな方は、一人でムカカカしてないで、どんどん周りの人に聞いてもらって、笑い飛ばしてしまえばいい。もちろんこちらへぶちまけて来ていただいても結構です。(^^)b(毎週木曜日の15時から19時半まで相談室にて)メールも大歓迎です。
kokolo_no_tobila@yahoo.co.jp



kokolo_no_tobila@yahoo.co.jp